

「MIKAGE」手がける

「阿波よしこの」 アレンジ曲完成

新春公演「宴」で披露



「阿波よしこの」のアレンジ曲を手がけた「MIKAGE PROJECT」の(左から)佐藤公基さん、浅野祥さん、本間貴士さん

〜」を完成させた。原曲のメロディーは変えずにポップなコードやジャズの要素を盛り込んだ。来年1月2日に徳島市のアスティとくしまで開かれる「徳島県阿波踊り協会新春公演「宴」」で披露する。

「阿波踊る」は三味線と箏によるしっとりとした演奏から始まり、かけ声の後に鳴り物の軽快なリズムが続く。拍子を変えながら和と洋の異なる表情を見せ、個々の卓越した演奏と歌声が思わず踊りたくなる雰囲気醸し出している。

新春公演への出演決定を機に、2カ月余りかけて作曲した。8月にはMIKAGEの3人がアスティとくしまや演舞場で阿波踊りを見学。浅野祥さんは「あらゆる芸能の中でも大勢を引きつける強い力を持っている」と印象を語る。

MIKAGEの理念は、作編曲を通して民謡を見つめ直し、後世に伝えていく

こと。これまでに富山県の「筑子節」や宮城県の「豊年こいこい節」といった各地の民謡をアレンジし発表してきた。佐藤公基さんは「歌い方はこうだ、こう演奏しなければいけないといった固定観念を取り払い、自分たちの色を塗るようなイメージで取り組んでいる」と言う。

新春公演での初披露について、本間貴士さんは「阿波踊りの楽曲に箏の演奏が入るのは珍しい。和楽器らしい響きとコード感のある

西洋のサウンドで表現するMIKAGEらしさを会場で感じてほしい」と会場を呼び掛けている。

公演は午後2時開演。徳島新聞社や日本芸能実演家団体協議会(東京)などが主催し、県協会徳島支部の約500人が出演する。全席指定の前売り券は徳島新聞社や徳島新聞販売店で販売中。問い合わせは徳島新聞社事業部、電話088(655)7331(平日午前9時半〜午後5時半)。(橋本真味)

全国で活動する民謡再編「京」が、阿波踊りの「阿波成プロジェクト」MIKAGE よしこの」をアレンジした「GE PROJECT」(東 楽曲)「阿波踊る〜渦と成り